



財団ニュースレター

第19号

2010年12月

発行：公益財団法人スペイン舞踊振興MARUWA財団 〒164-0001 東京都中野区中野3-46-13-402

TEL：03-5328-1852 FAX：03-5328-1853 URL：www.mwf.or.jp E-mail：info@mwf.or.jp

財団設立10周年の節目にクリスティーナ・オヨス氏が来日

2011年度に財団設立10周年を迎えるにあたり、スペイン・フラメンコ界の珠宝、クリスティーナ・オヨス氏が来日して下さることになりました。彼女による特別講習会も開催されますので、是非、ご参加ください！

● CAF コンクールの審査員としてオヨス氏を招聘

来たる2011年1月より、第6回 CAF フラメンコ・コンクールが東京・北千住の Theatre1010にて開催されます。

今回から地方予選が廃止され、予選も東京のみで2日間にかけておこなわれることになりましたが、地方在住の方からも多数のお申込みをいただきました。予選には総勢60名が参加し、2月26日(土)の本選には、予選を通過した16名のファイナリストが挑む予定となっております。

本選の審査をご担当いただくスペインからの審査員についてはこれまで交渉を重ねてまいりましたが、2011年度は当財団も設立10周年を迎える節目の年、ということで、審査員の一人としてクリスティーナ・オヨス氏にご来日いただく運びとなりました。

他の審査員も、オヨス氏の夫である舞踊家のホアン・アントニオ・ヒメネス氏に、カンテ・デ・ラス・ミーナスの実行委員であるマヌエル・ホセ・ナバーロ・ヒメネス氏、と大変豪華な顔ぶれとなっております。

早いもので、コンクールも今回で第6回目。これまで、数多くの優秀な人材を発掘・支援してまいりましたが、年々、出場者のレベルも上がり、スペインで研修を積んだ皆さんが、続々と活躍の場を広げてきております。10周年目となる今回は、いったいどんな方が栄冠を手にするのか。是非、皆さんも会場に足を運び、その瞬間を見届けいただければと思います。

チケットの購入方法等、コンクールの詳細につきましては、最終面にまとめて記載してありますので、観覧ご希望の方はそちらをご覧ください。

● オヨス氏による特別講習会も開催

今回、クリスティーナ・オヨス氏にご来日いただくにあたり、本選終了後に、6日間にわたって、特別講習会を開催していただくことになりました。

レッスンは、昼間クラス(11時～12時30分)と夜間クラス(基本的に19時～20時30分。27日(日)のみ16時30分～18時)の2クラスで、曲目は、昼間クラスがソレア、夜間クラスがアレグリアスを予定しております。なお、昼間クラスと



今回、久々の来日となるクリスティーナ・オヨス氏。老舗タブラオ「エル・フラメンコ」の出演者選定を手がけるなど、古くから日本とも深い関わりがある。

夜間クラスで若干日程が異なりますのでご注意ください。

参加料は各クラスとも35,000円です。定員はどちらも25名ですが、申込者多数の場合は抽選とさせていただきますのでご了承ください。参加ご希望の方は下記の募集要項をご確認の上、お早めにお申し込みくださいますよう、お願い申し上げます。

クリスティーナ・オヨス特別講習会募集要項

■日時

昼間クラス	2月28日～3月5日	11:00～12:30
夜間クラス	2月27日	16:30～18:00
	2月28日～3月4日	19:00～20:30

■場所 高円寺

■定員 各クラス25名

■参加料 6日間 35,000円

■申込締切 2011年1月31日

■問合せ先

公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA 財団
Tel. 03-5328-1852 URL <http://www.mwf.or.jp/>

フラメンコ・ワークショップ in 名古屋 報告

去る2010年8月3日(火)～8日(日)、名古屋のマルワスタジオにて、マリア・デル・マル・ベルランガ氏によるフラメンコ・ワークショップが開催されました。

今回は、例年より早めの時期の開催となったためか、昼クラスの参加者は前回よりも少なめでしたが、夜クラスは、今年もキャンセル待ちが出るほど、たくさんのお申し込みをいただきました。

マリア・デル・マル・ベルランガ氏といえば、もともとその丁寧で細やかな指導には定評のある方。今回のワークショップでも、1度も休憩を入れずに2時間ぶっ続けてレッスンをを行うなど、噂にたがわぬ熱心な指導ぶり、自分の持てるものを余すところなく伝授しようとする彼女の真摯な姿勢に、我々も舌を巻きました。

特に、夜クラスで振付けていただいたタンゴ・デ・マラガはアバニコを用いた珍しい振りだったので、受講者の皆さんも小物を使いながらの動きに最初は多少つまづいた様子でしたが、彼女のエレガントな動きのツボを会得しようと、集中してレッスンに取り組んでいらっしゃいました。

ワークショップの最後にあたる土日の2日間には、カン

タオーラのナタリア・マリン氏によるカンテ講座も開催され、唄の意味や、曲にあった効果的な動き方など、踊りを深める意味で重要なポイントについて解説していただき、好評を博しました。

来年度もまた、こうしたワークショップを企画していきたいと考えておりますので、今回参加できなかった方も、是非次回にご期待ください！



マリア・デル・マル・ベルランガ氏の華麗なアバニコ使いを懸命に学び取ろうとする夜クラスの生徒達。

スペイン研修報告

第5回 CAF フラメンコ・コンクールで奨励賞を受賞し、スペインでの研修を終えた梶山彩沙さんと里有光子さんよりレポートが届きました。



梶山 彩沙

この度は、9ヶ月間のスペイン研修という素晴らしい経験をさせて頂いた事を心より感謝しております。

帰国後一度大きな舞台上で踊らせて頂く機会があり、そこで私はアレグリアスを踊りました。そのアレグリアスに対して私が感じた気持ちに留学前との変化があり、その変化こそがスペインという国、セビージャという街が私に教えてくれた事だと思っています。以前のアレグリアスが「何か特別にとっても嬉しい事があった時」の喜びを踊ったものとしたら、今回は「日々笑顔で生活している事」への喜び。フラメンコという文化を生み、守り続けるスペインの人々と触れ

合って初めて、街を歩いてオレンジの香りを体で感じて初めて学べる“フラメンコ”を体いっぱい勉強できました。日本では見る事の難しい公演を沢山見る事もでき、素晴らしいアーティストの方々を目近で感じられたこと、沢山の先生方から教えて頂いた事なども本当にいい経験となりました。

スペインで勉強した事を生かし、感じた事を忘れずに、日本で引き続き学んでいきたいと思っています。今後ともご指導よろしくお願い致します。



里有光子

9ヶ月間という長期のスペイン、セビージャ滞在。

期待と不安と薄暗い街の中、クリスティーナ・ヘエレン・フラメンコ学校へと通学（もちろんその後段々と明るく、そして暑い朝となりましたが）。学校では最年長、ジェネレーションギャップとカルチャーショック。長期滞在につきもの（？）の共同生活の難しさも体感しました。それでも毎日、一日中フラメンコに触れていられる幸せで贅沢な時間！！そんな時間を与えてくれた、MARUWA 財団の研修制度に心から感謝しております。

様々な人と出会い、様々なフラメンコを観聴きする事で自分を知り、自分の知らなかった事を知り、疑問を持ち、答えを探す。それがこれからの私と私のフラメンコを創っていくのだから。

平成22年度 助成作品 報告

平成22年度の助成作品を上演された NS フラメンコ企画さん、望月美奈子さん、影山奈緒子さんより、公演のご感想をいただきました。

「第1回東北フラメンコフェスティバル2010 in 仙台」

NS フラメンコ企画

東北地方における初フェスティバル公演でしたが、今企画の代表である5名の先生方、そして有志生徒達、その誰もが様々な思いを抱き、今公演の為に一丸となって取り組んで参りました。

当日は小雨降るなか約1,250人のお客様にご来場頂き、82名によるセビジャーナスで幕を開けました。大きな歓声と温かい拍手が終始会場を盛り上げ、最高潮のまま150分のステージが過ぎて行きました。フィナーレは県章であるグリーンのパニユエロ（スカーフ）を片手に出演者全員によるルンバで華やかに終え、無事初公演を終えることが出来ました。

初企画事業ということで全てにおいて手探りでしたが、大勢のお客様の笑顔と拍手を生で拝見し、今後の文化発展を促すためにも地方事業は大切な土壌であり、このような企画はフラメンコ業界を挙げて取り組むべき急務の事業なのではないかと思いました。

厳しい予算でしたが、MARUWA 財団様からの助成金は運営資金として大変ありがたく、深く感謝しております。フラメンコ業界の賛助として今後ともお力になって頂けましたら幸いです。



(撮影者：高瀬 友孝)



(撮影者：滝沢 永次)

「輝く瞬間（とき）、感じるままに」

望月 美奈子

天候にも恵まれ、暑期中、大勢の方々会場まで足を運んでくださいました。

今回は、自分が踊ってきた「フラメンコ」を過去・現在・未来とテーマを決め、あえて凝った演出はせず「感じるままに」ひとりで踊りきれたことが自分にとって大きな収穫でした。

バックのアーティスト達もそれぞれがモチベーションを高めることができ、ソロ公演でも曲と曲との繋がりが切れた感じにならない様に上手く演出することができたと思います。

私の為に大勢の裏方さん達が汗をかきながら動いてくれたことにも改めて「皆に支えられて出来た舞台」だったと感謝しています。

また、企画、会場の運営等において、今後の課題となる点もいくつか見つけました。これからは、よりよいパフォーマンスを目指して、大小にかかわらず、一つひとつの舞台を大切にして踊り続けていきたいと思っています。

最後になりますが、今回のリサイタルを平成22年度助成作品に選んで頂き、ご支援して下さいまして、ありがとうございました。

「Aquí estoy yo.」～ココ（心）ニキタカラココ（此処）ニイル～

影山 奈緒子

今回は私自身、初めてとなるソロ・リサイタルでした。フラメンコと出会って17年の日々の中で出会った素晴らしいアーティストたちと一緒に、私の大好きな黒く濃くどこまでも深い、プーロ・フラメンコの舞台を作りたいと思い続け、実現したのが今回の舞台でした。

今回は昨年夏共演し、その内蔵をえぐるような歌に心をわしづかみにされたカンタオールファン・ビジャール Jr.、そして彼の弟で現在スペインでも第一線で活躍するアントニオ・ビジャールという二人の素晴らしい歌い手をゲストとして迎えることができました。初回の練習の日、彼らの歌と自分のフラメンコとのあまりの違いにカルチャーショックに近い衝撃を受け泣きました。それから本番までの日々は毎日が自分と、そして本物のフラメンコと向き合い闘い続ける日々。今までのフラメンコ人生の中で最も濃密にフラメンコに関わった時間でした。二人の偉大なカンタオールからはフラメンコのことでなく、プロのアーティストとしての在り方もたくさん学ぶことができ、かけがえのない財産となりました。他の共演者たちからは温かい心とたくさんの建設的な助言をもらいました。最初はぎこちなかった空気が練習を重ねるうちにひとつになっていき、本番の舞台では全員がひとつとなって、「フラメンコ」に向かっていくことができ、想像以上の素晴らしい空気を作ることができました。これまでの私の活動の集大成であるとともに、確実に次へとつながっていく光と課題の見えた舞台でした。

このような舞台を実現することができたのは、ひとえに貴財団の助成があったからです。貴財団からのご支援を、心より感謝申し上げます。まだまだ未熟ではありますが、フラメンコの深淵に少しでも近づけるよう、これからも精進していきます。



(撮影者：渡辺 亨)

平成23年度 助成事業 募集案内

平成23年度の助成事業の募集がいよいよ始まります。皆さん、奮ってご応募ください。

■助成金

平成23年4月1日～平成24年3月31日迄に完了予定のスペイン舞踊、音楽に関する公演、イベントの企画に対して総額400万円を助成します。

■助成対象

芸術活動を行っている個人、或いは団体が主催するスペイン舞踊、音楽に関する芸術の普及、向上につながるような国内公演、イベントの企画で、他機関からの助成を受けていないもの。尚、過去に100万円以上の助成を受けたことがある応募者の助成回数は3回迄とする。

■応募方法

応募用紙に上記活動の企画、予算、過去の芸術活動状況等を要約して記入の上、台本、或いはプログラム構成、過去の公演ビデオ又はDVD（10分間）と共に郵送のこと。応募用紙は当財団にご請求ください。

■応募期間

平成23年1月10日～2月10日必着

■選考結果

意欲的で、優れた公演、イベントの企画に対して、財団の選考委員による厳正なる審査結果を平成23年3月31日迄に、本人宛通知致します。尚、助成金支給は公演終了後一ヶ月以内の報告書、写真、印刷物等の提出により実施されます。

■問合せ先

公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA 財団

〒164-0001 東京都中野区中野3-46-13-402

Tel. 03-5328-1852 / Fax. 03-5328-1853

URL <http://www.mwf.or.jp/>

E-mail info@mwf.or.jp

第6回 CAF フラメンコ・コンクール

第6回 CAF フラメンコ・コンクールの入場券が12月1日より、いよいよ発売となります。チケットご希望の方は当財団までお申し込みください。たくさんの方のご来場、お待ちしております。

■予選

2011年1月29日（土） 13:30～

2011年1月30日（日） 13:30～

■本選

2011年2月26日（土） 15:00～

■会場

北千住 Theatre1010（シアターセンジュ）

※予選・本選共に同会場

■入場料

予選／2,000円（全自由席）

本選／3,000円（全指定席）

■チケット取扱・問合せ

公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA 財団

〒164-0001 東京都中野区中野3-46-13-402

Tel. 03-5328-1852 / Fax. 03-5328-1853

URL <http://www.mwf.or.jp/>

E-mail info@mwf.or.jp

事務局便り

いよいよ当財団の10周年記念事業が形になり始めてきました。平成23年初頭に過去のCAFコンクール上位入賞者も含めての「日西フラメンコの祭典」を開催いたします。スペインからのゲストは次回のニュースレターにて詳しく発表いたしますので、お楽しみに！

第6回 CAF コンクールは初めての

会場での開催になりますので、我々スタッフも会場図面とにらめっこで、動線の検討等、下準備に追われています。

今年度参加者の特徴は初参加が約半数、交通費補助が少しはお役に立っているのか、地方からの参加者も20名位となっています。時間的にも2日間各々30名の参加者となります

ので、約3時間で終了いたします。参加者、観客、審査委員の方々にとっても、丁度良い時間配分になるでしょう。

コンクール予選の審査結果発表は30日になりますが、ホームページ上にもなるべく早くアップしますので、皆さんもチェックしてみてください。

（広瀬）